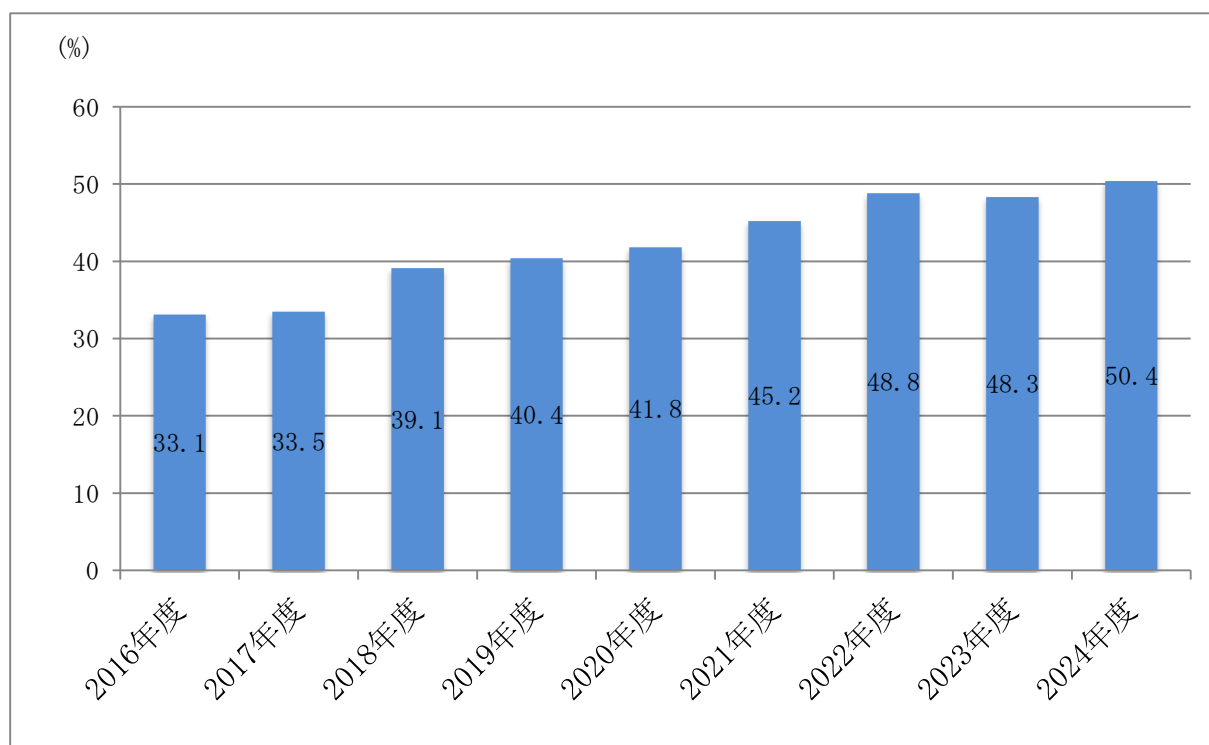


入院患者におけるリハビリテーション実施率



入院、発症、術後早期よりリハビリテーションが実施されることで患者の機能回復、合併症の予防、早期退院などの効果は多大であり、その必要性は高い。一般的に急性期病院では入院患者の 10～20%がリハビリテーションを受けていることで病院の質の向上につながると言われているが、当院のリハビリ実施率は 2024 年度には 50%を超え、入院患者の約半数がリハビリテーションを実施している。今後もリハビリテーションが必要な患者に提供できる体制を整えていきたい。

データ提供 リハビリテーション部